

## 第22期 第4回練馬区男女共同参画推進懇談会 会議録（要録）

- 1 日時 令和6年11月12日（火）午後6時30分～午後7時20分  
2 場所 多目的会議室  
3 出席者 16名（傍聴者1名）  
欠席7名（本橋委員、田代委員、井戸委員、伊藤委員、佐治委員、松井委員  
宮地委員）

片居木委員	村田委員	安蔵委員	八巻委員
立川委員	渡邊委員	濱屋委員	清水委員
山崎委員	長田委員	新平委員	高桑委員
服部委員	藤井委員	佐川委員	中田委員

事務局（人権・男女共同参画課／事業者：株式会社創建）

### 4 審議事項

#### （1）第6次練馬区男女共同参画計画（素案）（案）について

##### 【目標Ⅰについて】

##### （会長）

今回の素案は、多くの意見が反映されており、ボリュームはあるものの見やすく章立てされ、テーマごとに担当課が明記されている。

「一人ひとりが自由に輝くまち」を目指すという趣旨については、冊子の3ページ目に記載されている通り、「違いを認め合い、希望に応じた生き方を選択できる」という説明が適切にされている。

##### （委員）

素案は非常に完成度が高い。「男女共同参画に関する行政関係年表」において、令和6年の「育児介護休業法の改正」や「次世代育成支援対策推進法の一部改正」が抜けている。

##### （事務局）

該当箇所を確認し、対応する。

##### （委員）

リーディングプロジェクトの「女性のためのデジタルスキル習得講座」の「女性のため」という表現の意図を知りたい。デジタルスキルは性別を問わず必要ではないか。

また、41ページの「女性防災リーダー育成講座等」の「等」に含まれる具体的な講座内容は何か。

##### （事務局）

「女性のためのデジタルスキル習得講座」は、女性活躍推進法に基づき、育児や介護で離職した女性がスキルアップし、就労を支援することが目的である。

41ページの講座内容については、防災センターで実施している女性向けだけではなく、多様な視点での防災講座も含める形としている。

(委員)

リーディングプロジェクト3で「現在」と記載されている理由を確認したい。

また、27ページの「ひとり親家庭応援プロジェクト」では、男性のひとり親家庭も対象となるのか。

(事務局)

「現在」というのは、下段の今後の新規事業と対比した形で使用している。

「ひとり親家庭応援プロジェクト」は父子家庭も対象となる。

(委員)

練馬区には農家や個人商店の方が多く、農業委員会の男女比リストを見た際に女性が0である点が気になった。農家でのパワハラの実態や、第1次産業従事者数のデータが知りたい。

また、ハラスメントの相談窓口についての情報提供や、ネット上の誹謗中傷への対応策が必要ではないかと感じる。

(事務局)

第1次産業従事者数の資料は手元にない。昨年実施した「人権・男女共同参画に関する意識と労働実態調査」では、2名以上の事業所を対象にしており、調査対象としている。

ハラスメントについては相談窓口で対応する。

(委員)

素案はよくまとめられており、「自由」という言葉についての議論がうまく反映されている。27ページの指標で「認知度」から「周知度」に変更された理由を確認したい。

(事務局)

「周知度」と「認知度」は同じ意味合いで使用している。

(委員)

リーディングプロジェクトの記載について、「現在」という記載の後に「今後」という言葉を続けることで、展開がより明確になるのではないか。

(会長)

今回の素案は議論を十分に反映しており、洗練されている。意見が最大限取り込まれている印象を受ける。

最終確認は来年2月13日の懇談会で行う予定。それまでに内容をしっかり確認していただきたい。

以上